



本康歯科ニュース



世界中のどの歯医者に行くよりも、この歯医者に来て良かった！！」と思ってもらえる歯科医院をめざして！

「滋賀県の児童虐待の相談件数 前年度比4%余増加 過去最多に

昨年度1年間に、県などに寄せられた児童虐待に関する相談は8200件あまりと前の年度を300件以上上回り、これまでで最も多くなりました。

県によりますと、昨年度1年間に、県内にある3つの子ども家庭相談センターと市や町の相談窓口が対応した児童虐待に関する相談は8201件でした。

これは、前の年度と比べて328件、率にして4.2%増え、県が統計を取り始めた平成20年度以降で最も多くなりました。

虐待の種類別では、▼暴言を吐かれたり、目の前で家族のDVを目撃したりするなど心に傷を受ける「心理的虐待」が3184件で、全体の38.8%と最も多く、次いで▼暴力を加える「身体的虐待」が2757件で、33.6%、▼子どもの面倒を見ない「ネグレクト」が2182件、26.6%などとなっています。

虐待を受けた子どもを年齢別でみると、▼「小学生」が全体の37.9%と最も多く、次いで、▼「3歳から就学前の児童」が18.7%、▼「0歳から3歳未満」が18.1%でした。

また主な虐待者は、▼「実の母親」が全体の62.5%、▼「実の父親」が31.5%となっています。

県の子ども・青少年局は、新型コロナの影響で親子で家にいる時間が長くなり、虐待があったとしても気付けないケースが増えるおそれがあるとして、警察など関係機関と連携を強化して、虐待防止に取り組みたいとしています。」

また、大津で悲惨な事件も起こっていますが、今回歯科医としてお話ししたいのは、お子さんのお口の中を定期的に見てあげない事で、むし歯になっていることに気づかないのもネグレクトと言っても過言ではありません。またむし歯と分かっているながら、「仕事で忙しい」、「介護で疲れている」、「時間がない」等と言い訳をして連れて行かないのは、もうネグレクトです。厳しいことを言っているかもしれませんが、どうかお子さんの健康を守るために一緒に考えていきましょう。

歯とお口に
まつわる歴史

デンタルヒストリア

「中世イタリアの理髪師は“歯科を副業”にしていた？」

昨今、本業以外にほかの仕事をもつ“副業”が人気ですが、**中世イタリアの理髪師は歯科を副業**にしていたそうです！ 理髪師はヒゲ剃りなどで刃物の扱いが慣れていたという理由から、医師の業務の一部である**外科的処置**や**抜歯**、**お口の中の清掃**などを行っていたようです。ただし、本業は理髪ですから、外科的な処置はあくまでも副業として、**料金は礼金**という形でそのつど金額が変わっていたようですよ。ヘアカットやメイクなどを得意とし、美しさへの関心が高い理髪師がお口の中を美しくするのは、自然な流れだったのかもしれませんがね。

